



ジャパンリンクセンター (JaLC) および DOI登録について

平成26年3月
 ジャパンリンクセンター事務局
 (独立行政法人科学技術振興機構 知識基盤情報部)
 余頃祐介

リンクでつなげよう学術コンテンツの和

0. contents

章	内容	所要時間
1章	DOI基礎知識 (復習) 国際標準の識別子：DOIとは？ DOIによる恒久的なアクセスを実現！ DOIの運営組織	3分
2章	ジャパンリンクセンター (JaLC) の近況 ジャパンリンクセンター (JaLC) とは？ JaLC正会員一覧 (平成26年3月13日現在) JaLCによるDOI登録件数 DOIレゾリューション (解決) 数 新システムの開発	5分
3章	お知らせ DOI中心の世界へ J-STAGE搭載中の全記事にDOIを登録	2分

合計：10分



1章 DOI基礎知識（復習）



リンクでつなげよう学術コンテンツの和

1-1. 国際標準の識別子：DOIとは？

- ◆ **D**igital **O**bject **I**dentifierの頭文字で、コンテンツの電子データに付与される国際的な識別子である。
- ◆ DOIは、ISOにより標準化された規格(ISO26324:2012) である。

DOIの例: **10.1241** / **johokanri.55.42**

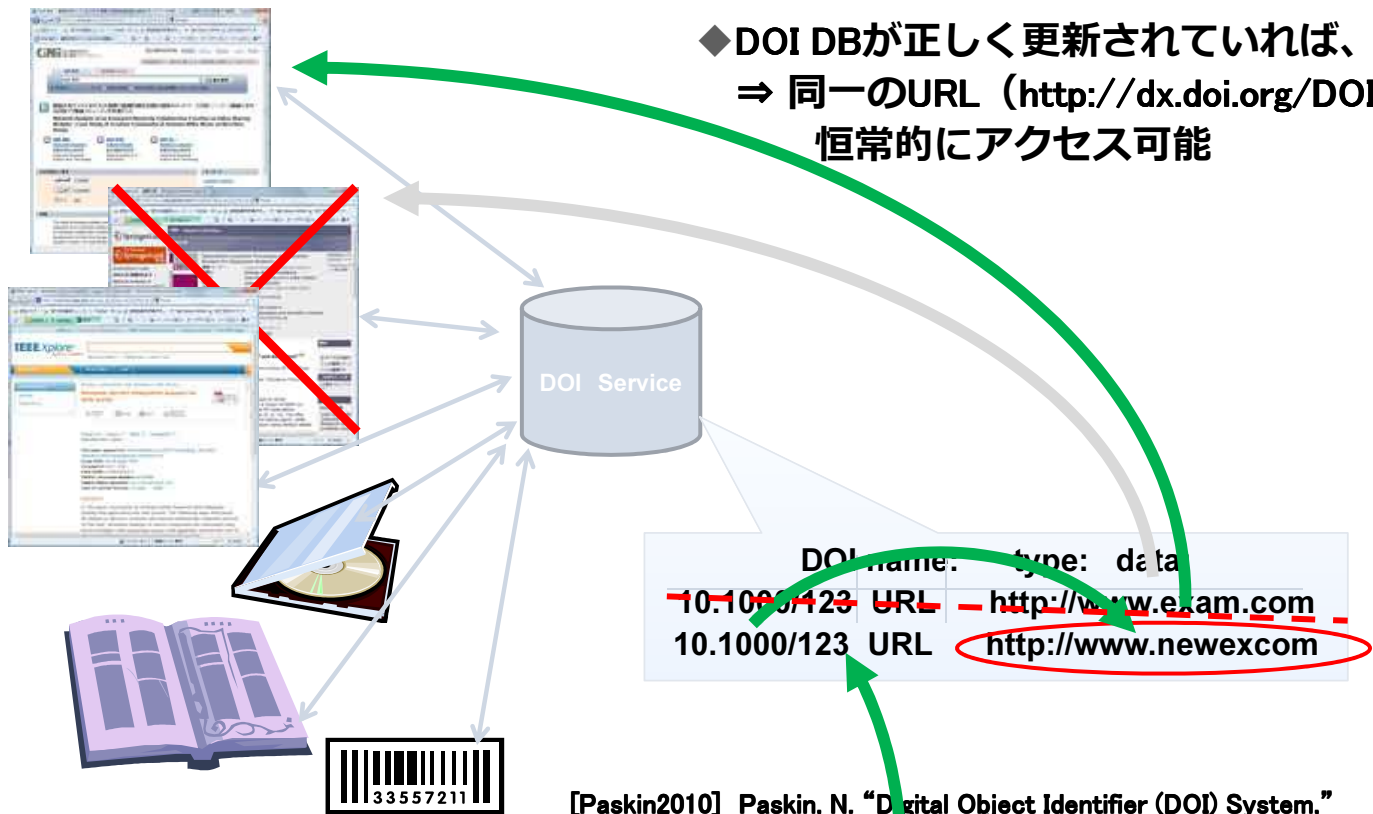
DOI-Prefix DOI-Suffix
↓ ↓

アクセスする際のURL ⇒ <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.55.42>

- ◆ 各機関固有のDOI-prefixと、個々のコンテンツを特定するDOI-suffixとを「/」（スラッシュ記号）でつないで並べた構文となっている。
- ◆ DOIの前に、「<http://dx.doi.org/>」を付けることにより、URLとして機能する。

1-2. DOIによる恒久的なアクセスを実現！

- ◆ DOI DBが正しく更新されていれば、
⇒ 同一のURL (<http://dx.doi.org/DOI>) で
恒久的にアクセス可能



[Paskin2010] Paskin, N. "Digital Object Identifier (DOI) System,"
Encyclopedia of Library and Information Sciences, Third Edition
(2010). DOI: 10.1081/E-ELIS3-120044418

1-3. DOIの運営組織

国際DOI財団 (1998年設立)
(The International DOI Foundation; IDF)



- DOIレゾリューション (<http://dx.doi.org/XXX> ⇒ XXXにDOIを入れるとURLに！)
 - DOI登録機関(Registration Agencies ; RA)の管理
 - ポリシーの策定
- ※IDFに直接DOIをデポジットすることはできない。⇒RAを通じてのみ可能

DOI登録機関
(Registration Agencies; RA)



※2012年3月JaLCは世界で9番目のRAとして認定を受けた。

- Prefix登録、DOI登録維持業務
 - DOI登録者(registrants=DOI付与を行おうとする者)の管理
 - DOIシステムの普及
- ※IDFの年会費の支出 (年額約600万円程度)



2章 ジャパンリンクセンター (JaLC) の近況

2-1. ジャパンリンクセンター (JaLC) とは？

- 世界で第9番目に国際DOI財団 (International DOI Foundation) から、**国際的な識別子であるDOI (Digital Object Identifier) 登録機関**に認定された日本で唯一の機関
- 電子化された学術論文、書籍、研究データ等に**DOIを登録**し、コンテンツの所在情報(URL)等とともに管理
- **国内学術機関※が共同で運営**
(事務局は、独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) が務めている。)
- **正会員：16機関、準会員：898機関 (平成26年3月13日現在)**
(**J-STAGEご利用学協会様は、正会員たるJSTの準会員という構成。**)

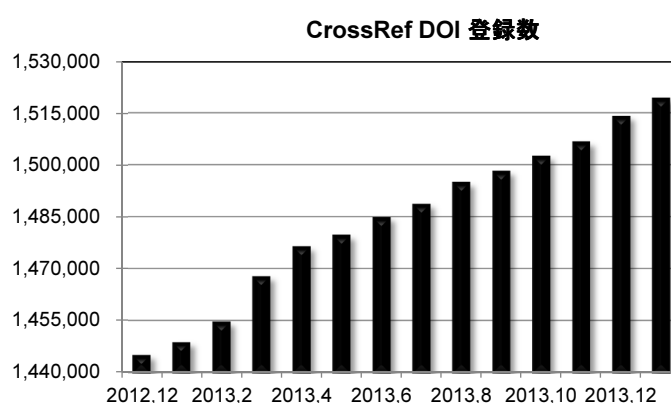
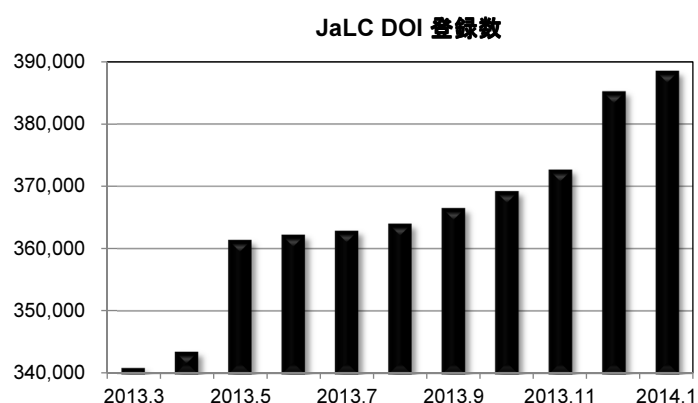
※独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)、
独立行政法人 物質・材料研究機構 (NIMS)、
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構国立情報学研究所 (NII)、
国立国会図書館 (NDL)

2-2. JaLC正会員一覧

(平成26年3月13日現在)

正会員名	下位団体
1. 独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)	あり
2. 独立行政法人 物質・材料研究機構 (NIMS)	なし
3. 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 (NII)	あり
4. 国立国会図書館 (NDL)	なし
5. 診断工学技研 有限責任事業組合	なし
6. 大学共同利用機関法人情報 システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター (DBCLS)	なし
7. 東京医科歯科大学図書館	なし
8. 有限会社 權歌書房	あり
9. 日本神経化学会	なし
10. 川崎医学会	なし
11. NPO 医学中央雑誌刊行会	あり
12. 公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会	なし
13. 三美印刷 株式会社	あり
14. 気象庁 気象研究所	なし
15. 独立行政法人 日本原子力研究開発機構 (JAEA)	なし
16. 独立行政法人 理化学研究所脳科学総合研究センター神経情報基盤センター	なし

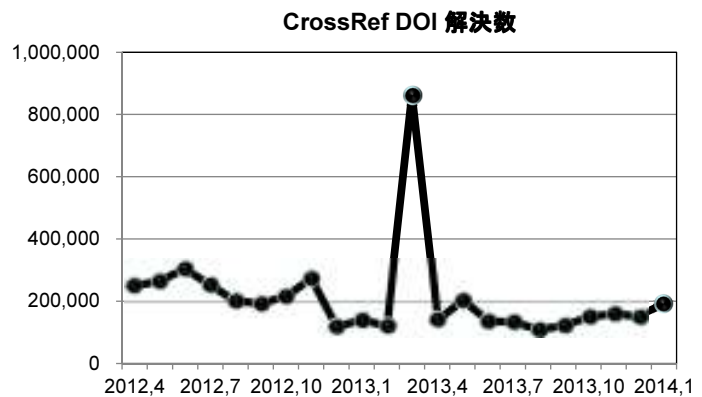
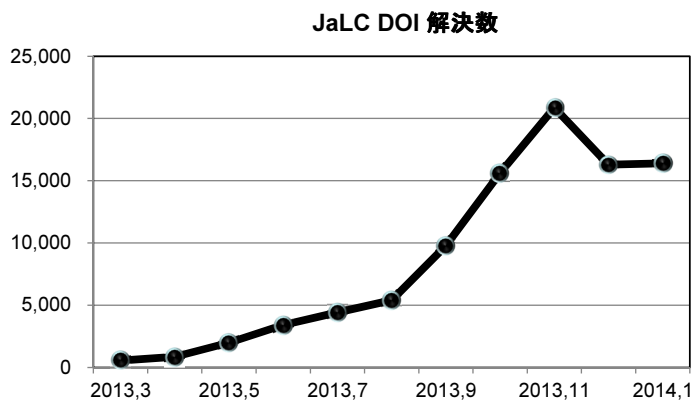
2-3. JaLCによるDOI登録件数



※ JaLCにおけるDOI登録件数：200万件突破！

(2014年2月末時点)

2-4. DOIレゾリューション（解決）数



DOIの活用（DOIによる解決）も広がり始めてきた。
（2014年2月末時点）

2-5. 新システムの開発

- 利用機関からの多様なニーズに応えるべく、新システムを開発中
- 平成26年12月にリリース予定
- 詳細は改めてご案内を差し上げます（乞うご期待！）



3章 お知らせ

リンクでつなげよう学術コンテンツの和

3-1. DOI中心の世界へ

J-STAGEでは、これまで登載記事の識別子としてJOI (JST Object Identifier) と、DOI (Digital Object Identifier) の2種類を登録、提供してきました。

情報管理

Vol. 56 (2013) No. 12 P 813-821

記事言語: Japanese ▼

次の記事 ▶

 <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.56.813>  DNIJST.JSTAGE/johokanri/56.813

平成27年1月から(予定)

今後、J-STAGEでの登録は、国際規格で既に世界各国で流通している DOIに一本化することになりました。

情報管理

Vol. 56 (2013) No. 12 P 813-821

記事言語: Japanese ▼

次の記事 ▶

 <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.56.813>

これにより国内外からの国内学術論文への恒久的なアクセスが保証され、より多くのアクセスを確保することが期待されます。

☆既に登録されたJOIのリダイレクトは継続して行います。

3-2. J-STAGE搭載中の全記事にDOIを登録

J-STAGEでは、予稿集を中心にDOI登録が済んでいない記事が、約40万件存在します。

映像情報メディア学会2003年冬季大会
セッションID: 1-1

記事言語: Japanese ▼

主催: 社団法人映像情報メディア学会

平成26年3月末までに、これらすべての記事に対してDOIの登録を実施しています。これにより、原則、J-STAGE内の全ての記事にDOIが登録されることになります。

- ※一括登録の対象学協会様には、JSTより個別にご連絡を差し上げております。
- ※今後、覚書の締結等のお願いを差し上げます。詳細は後日ご案内を差し上げます。

ご清聴いただきありがとうございました。